

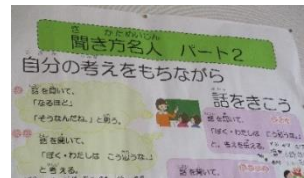


子供たちの成長を支える

教務主任 腰本 真希子

2学期の大きな行事も終え、子供たちにとっては2学期の締めくくりを迎える時期となってきました。

令和5年度の始めに今年度の重点目標を「自分の考えをもちながら、話を聞くことができる」と設定し、各教室で掲示をして意識できるようにしたり、一人一人が自分の「聞く」目当てをもって学習に取り組んだりすることができるよう、「一人一人」を重視したものにしてきました。また各学年で、一人一人が自分の考えや思いをもって取り組むことができるよう、体験活動やグループ活動等、年間を通して計画・実行してきました。その際、教師は「これなら、子供が楽しめる。」と事前の支援策を学年で検討したり、「ここで子供はつまずくかもしれないけれど、子供の力に任せよう。」と子供の成長場面を敢えて遠くから見守る検討をしたりと、学年の実態やターニングポイントに応じて子供たちの成長を支える方法を模索していました。



【聞き方名人の掲示】

1年生 ねいの里で「秋の自然見つけ」	2年生 生活科「おもちゃランド」	3年生 社会科「小松菜農家の見学」
4年生 総合的な学習の時間「SDGs講座」	5年生 総合的な学習の時間「稲刈り体験」	6年生 理科「地層の見学」

また、各学習や体験、行事の後は学年や学級で振り返り、次の学習や成長に向けて、一人一人が考えをもつ場面も設定していました。このように、P (Plan 目標設定・計画)、D (Do 実行)、C (Check 評価)、A (Action 改善) のPDCAサイクルを大切にして、学習を進めています。一人一人が自分で考え、行動していく姿を支えるような取組をこれからも続けていくことで、子供たちは自分自身で成長していくことができると考えています。どこに子供の成長につながるターニングポイントが隠れているかは分かりません。今後も、子供の成長の支えとなると信じ、様々な教育活動ができるよう、教職員で協力しながら取り組んでいきたいと思ひます。



【学年での話し合いの様子】

12月の主な行事予定

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 6日(水)校外班集会 | 20日(水)・21日(木)保護者会 |
| 6日(水)～8日(金) 5限後一斉下校 | 22日(金)給食終了・終業式 |
| 13日(水)学校保健委員会 | 23日(土)冬季休業開始 (～1/8(月)まで) |



主体的に学ぶ姿を目指して

情報教育担当 津田 哲志

ロボットやAIの発達により、求められる資質・能力も変わってきています。知識の暗記のような受動的な学習ではなく、子供が積極的に発言をしたり、調べたりする学習を目指して取り組んでいます。そのような能動的な学習を支えるために、タブレットや電子黒板等のICTの効果的な活用も工夫しています。福野小学校で実際に行われたICTの活用実践例を二つ紹介します。

4年生の社会科では、豪雨等の水害への備えとして家や地域で見つけたものをタブレットで撮影し、「発表ノート」という機能を使って紹介し合いました。タブレットを持ち帰り、家の周りや地域を注意深く見て、災害への備えを見付けようとする主体的な姿が見られました。

6年生の社会科では教科書の写真をタブレットで撮り、友達に注目してほしい所や自分の気付いたことに線を引き、タブレット上の「発表ノート」に載せて伝え合いました。どの子供も自分の書いたとおりにノートを見せることで、伝えたいことを分かりやすく発表することができました。

タブレットの活用により、授業以外でも進んで学ぼうとする姿、楽しんで取り組む姿が見られます。このような「主体的に学ぶ姿」につながるICTの効果的な活用の方法を今後も追究していきたいと思います。



【「発表ノート」で伝え合う姿】



教育活動あれこれ

令和5年度 学習発表会 10/15 (日)

テーマ「思いを込めて表現しよう
～可能性は無限大～」



「1年 おもいっきり たのしもう」



「2年 あきのチャンピオン」



「3年 みんながって みんないい」



「4年 114の挑戦」



「5年 想いを かたちに」



「6年 未来を生きる わたしたち」